

# 高校生活スタート

## 1年生 対面式・クラブ説明会

新入生もいよいよ青峰での高校生活が始まりました。1日でも早く学校生活に慣れるよう、オリエンテーション、ガイダンス、対面式、クラブ説明会が行われました。

新入生を迎える立場となった2年生とともに対面式、クラブ説明を行いました。生徒会や部活の説明を通して木曽青峰高校の1生徒としての自覚を持ってもらうとともに、まだ新たな環境に不慣れな新入生を歓迎する場として、とても温かな場となりました。今後も新しい仲間と共に充実した学校生活を送れることを楽しみにしています。

開田中学卒  
理科 3年 北野 陽和



令和6年度

### 生徒会スローガン



### 青の魁

この学校の華である生徒の皆さんが、大多数に先駆けて自ら率先して活動・行動をしていこうという思い。



入学式

対面式

4月14日

### クラブ結成式

クラブ説明会後、興味があるクラブに1週間の体験入部し、クラブ結成式に参加しました。

- |  |  |                   |
|--|--|-------------------|
| <b>運動部</b>   | <b>文化部</b>   | <b>同好会</b>        |
| バスケットボール<br>バドミントン<br>ソフトテニス<br>バレーボール<br>ハンドボール<br>サッカー<br>陸上競技<br>弓道<br>野球<br>卓球<br>相撲<br>剣道 | 演劇<br>美術<br>茶道<br>軽音楽<br>英語書道<br>天文<br>食物・料理<br>被服・手芸<br>吹奏<br>コンピューター | 自然科学<br>スキー<br>里山 |

### 定時制

定時制では4月3日に始業式と新任式が行われ、新たに3名の先生をお迎えしました。4日の入学式では7名の新入生が入学し、5日には「対面式・クラブ説明会」が行われました。上級生の温かい雰囲気に包まれて、新入生も新しい生活を順調にスタートできました。

今年もスクールマガジンを発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学校及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思います。また本校ウェブサイトも合わせてご覧いただければ幸いです。  
木曽青峰高等学校 教務室 Tel: (0264) - 22-2315 / Fax: (0264) - 21-1056  
木曽青峰高校 HP URL: <https://seihoi-school.jp/>



木曽青峰高校 HP QRコード



4月4日に第18回木曽青峰高等学校入学式が挙行されました。全日制普通科20名、理数科15名、森林環境科26名、インテリア科24名、定時制普通科7名の計92名の新入生が入学

入学式の皆さん入学おめでとうございます。全日制八五名、定時制七名の併せて九二名の皆さんを、木曽青峰高校は心から歓迎します。つい数週間前まで中学生だった皆さんは、中学で最上級生としての気概を持って、仲間と協力し、自身の、仲間の、そして学校の成長に貢献されてきたことと思います。中学校を訪問させていただいた際、その場で見る最上級生としての、そしてそれぞれの立ち位置での自覚を持った顔立ちを見て心強く感じました。同時に支えてきてくださったご家族、小中学校の先生方、地域の方々からの愛情たっぷりのご支援とご尽力の賜物であることも伝わってきました。中学での学びは、勉強や作法など、その多くは今後皆さんが社会に出るための基礎作りでした。高校生になると、社会を築く、支える側の一員として扱われることが多くなります。これからは今以上に、『君はどう思う』という問いかけがなされます。そしてその問いには正解がないことがほとんどです。まさに現代社会で必要とされる正解のない出来事への対応能力が求められることとなります。でもそのことにおおげさなことに『問われること』は自分で考えるチャンスをもたらすことです。自分で考え、成長段階に合わせた自分の答えを導き出すことはあなた自身をあなたが考えている以上に成長させてくれます。

そのためには高校時代に様々な人と話をしてみてください。一つのテーマに対し一人一人の切り口は異なります。自身が意識したことのない切り口は自分の幅を広げ、切り口を自分の中に取り込み頭を絞って答えを導き出すことは自身に深みを与えます。木曽青峰高校ではその機会をホームルーム、授業、部活動、学校行事など様々なシーンで準備しています。最近の経験を紹介します。サントリーの天然水の工場見学に行った時のことです。ツアーの中で解説をしていた方が常に口にされていたのが、安全安心な水をお客様に届けるということでした。その言葉はけっしてクリーンな環境で製品を作ることだけにとどまらず、安全安心な水を導くために、山の木を育て、水に含まれている化学成分をチェックし、わずかな異物の混入を感じ取れるほど五感を研ぎ澄ます。水をおいしく飲める空間をデザインし、安全な流通を確保する、そして自社の取り組みを広報する。私は、様々な職種の人たちが、それぞれの特性を尊重・理解し、私たちのものに水を届けるという一点に向けて誇りをもって取り組む姿勢を感じました。とても素晴らしいと思いました。同時に青峰高校でもできると思ったのです。青峰には全日制・定時制併せて四科に属する生徒が、それぞれ科の特性を活かした学びに取り組んでいます。各科で学んだ視点や経験、技術を活かし互いに協働す



※直営書より一部抜粋

2024 木曽青峰高等学校 vol. 01

# School Magazine

## 第18回入学式挙行

### 木曽青峰高等学校校長式辞 西林昭隆

入学式の皆さん入学おめでとうございます。全日制八五名、定時制七名の併せて九二名の皆さんを、木曽青峰高校は心から歓迎します。つい数週間前まで中学生だった皆さんは、中学で最上級生としての気概を持って、仲間と協力し、自身の、仲間の、そして学校の成長に貢献されてきたことと思います。中学校を訪問させていただいた際、その場で見る最上級生としての、そしてそれぞれの立ち位置での自覚を持った顔立ちを見て心強く感じました。同時に支えてきてくださったご家族、小中学校の先生方、地域の方々からの愛情たっぷりのご支援とご尽力の賜物であることも伝わってきました。中学での学びは、勉強や作法など、その多くは今後皆さんが社会に出るための基礎作りでした。高校生になると、社会を築く、支える側の一員として扱われることが多くなります。これからは今以上に、『君はどう思う』という問いかけがなされます。そしてその問いには正解がないことがほとんどです。まさに現代社会で必要とされる正解のない出来事への対応能力が求められることとなります。でもそのことにおおげさなことに『問われること』は自分で考えるチャンスをもたらすことです。自分で考え、成長段階に合わせた自分の答えを導き出すことはあなた自身をあなたが考えている以上に成長させてくれます。

そのためには高校時代に様々な人と話をしてみてください。一つのテーマに対し一人一人の切り口は異なります。自身が意識したことのない切り口は自分の幅を広げ、切り口を自分の中に取り込み頭を絞って答えを導き出すことは自身に深みを与えます。木曽青峰高校ではその機会をホームルーム、授業、部活動、学校行事など様々なシーンで準備しています。最近の経験を紹介します。サントリーの天然水の工場見学に行った時のことです。ツアーの中で解説をしていた方が常に口にされていたのが、安全安心な水をお客様に届けるということでした。その言葉はけっしてクリーンな環境で製品を作ることだけにとどまらず、安全安心な水を導くために、山の木を育て、水に含まれている化学成分をチェックし、わずかな異物の混入を感じ取れるほど五感を研ぎ澄ます。水をおいしく飲める空間をデザインし、安全な流通を確保する、そして自社の取り組みを広報する。私は、様々な職種の人たちが、それぞれの特性を尊重・理解し、私たちのものに水を届けるという一点に向けて誇りをもって取り組む姿勢を感じました。とても素晴らしいと思いました。同時に青峰高校でもできると思ったのです。青峰には全日制・定時制併せて四科に属する生徒が、それぞれ科の特性を活かした学びに取り組んでいます。各科で学んだ視点や経験、技術を活かし互いに協働す

### 新入生代表挨拶

一年一組 理数科 田村心

新型コロナウイルスの五類移行から十一月の時を経て、マスク着用などの努力義務がなくなつてから初めての入学式となります。私たち令和六年度入学生は、思春期の入り口をコロナウイルスとともに中学三年時にはAfterコロナの中で生徒会活動等に取り組んできました。五類移行といってもコロナウイルスの流行前とまったく同じ生活に戻ってきたわけではなく、先輩から引き継いだものを参考にしつつも、引き継ぎが途切れてしまっていたものもありました。しかし、だからこそ、一から考える柔軟な発想力が求められました。その結果、多様な活動の形を生み出すことができました。コロナの流行と収束の世の中で培ってきた柔軟な発想力を活かして、高校生活では学業や部活動等、各々がやりたいことを全力で楽しむことができたいと思います。